



上田市立美術館コレクション展

光と影で魅せる

セルフポートレート (1950年)

写真家 ハリー・K・シゲタの世界

会場 サントミュージゼ 上田市立美術館

会期 2017年7月1日(土)～9月3日(日) ※2017年7月16日(日)～20日(月)は企画展展示替えのため休室

観覧料 一般:300円 高校・大学生:200円 小中学生:100円

休館日 火曜日(祝日の場合はその翌日)
時間 9:00～17:00(入場は16:30まで)
主催 上田市(上田市立美術館)／上田市教育委員会



<https://www.santomyuze.com/>

光と影で魅せる

写真家 ハリー・K・シゲタの世界

15歳で単身渡米し、国際的商業写真家としてその名をはせたハリー・K・シゲタ(1887～1963)。

彼がシカゴに開設した写真スタジオ「シゲタ・ライトスタジオ」にはアメリカの大手企業が顧客として名を連ね、連日シゲタに広告写真の撮影依頼を求めたといわれています。

シゲタの写真はなぜここまで評価されたのでしょうか。まず、シゲタが写真撮影や修整において卓越した技術を持っていたことが上げられます。そして、彼の写真には特徴がありました。それは他の商業写真にはない芸術的表現です。考え抜かれた構図と洗練されたデザインは、当時多くの顧客と消費者を魅了したといえます。

本展では、「写真を絵画芸術のように自由自在に表現」しようとしたシゲタの試みの一つ、「強い光」と「浮かび上がる影」、そして写真修整によるシゲタの感性と技術が織りなす幻想的な芸術写真を紹介します。また、商業写真家としての集大成ともいえるカラー写真「ダイトランスファープリント」による作品を展示し、芸術写真と商業写真を融合させ、アメリカ社会を魅了した写真家ハリー・K・シゲタの足跡を辿ります。



干潮(1945年)



渦巻(1948年)



老人の肖像(1920年代)



ストロベリーパイ(1950年頃)

関連企画

暗室体験! フォトグラムをつくろう

カメラを使わず、光と影でイメージをつくる白黒写真「フォトグラム」を体験します。デジタルでは味わえない、暗室でつくる銀塩写真からシゲタの世界に触れてみませんか?

講師 ● 倉島 壮 (上田市立美術館 教育普及指導員)

定員 ● 15人

日時 ● 8月13日(日) 13:00～16:00

会場 ● 子どもアトリエ 暗室

対象 ● 中学生以上(中学生から高校生を主な対象としますが、一般の方も参加可能です。)

申込み ● 7月22日(土)～29日(土)に美術館に電話でお申し込みください。

参加料 ● 1,000円(ハリー・K・シゲタ コレクション展の観覧料含む)

ギャラリートーク

学芸員が作品解説やシゲタの人柄などをわかりやすくお話しします。

日時 ● 7月8日(土)、8月20日(日) 13時30分～、8月19日(土) 18時30分～

参加方法 ● ハリー・K・シゲタ コレクション展観覧券をお求め下さい。

ナイトミュージアム

毎週土曜日は、美術館の開館時間を20時まで延長します。(最終入館は19時30分)

サントミューゼ

上田市立美術館

Tel.0268-27-2300

〒386-0025 長野県上田市天神3-15-15

休館日: 火曜日(祝日の場合は翌日)

上信越自動車道「上田善平I.C.」から車で約15分/
北陸新幹線、しなの鉄道、上田電鉄別所線「上田駅」から徒歩約7分

<https://www.santomyuze.com/>

